

「人生のやる気デザイン」研究部会（第25回）

日時：2022年6月27日（月）13:00～15:15

場所：野間教育研究所（対面）＋オンライン（Zoom使用）

出席：渡辺弥生・榎本淳子・中井大介・倉住友恵 各兼任研究員

吉久知延所長・山口和人・金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

オンライン参加：杉本希映

欠席：中谷素之

内容：（1）杉本研究員：『好奇心』研究のレビュー

1. 「好奇心」は新奇な対象への接近と探索を動機づける本能（James, 1890）

①知的好奇心（知的活動を動機づける）：拡散的探索と特殊的好奇心の2タイプあり

②知覚好奇心（新奇な視覚刺激や聴覚刺激に対する動機づける）

（Berlyne, 1960）

2. 「好奇心」研究の文献紹介

①西川一二・雨宮俊彦（2015）. 知的好奇心尺度の作成—拡散的好奇心と特殊的好奇心—「教育心理学研究」, 63, 412-425.

②西川一二・吉津潤・雨宮俊彦・高山直子（2015）. 好奇心の個人差と精神的健康および心理的 well-being との関連 「日健医誌」, 40-48.

③西川一二（2018）. 好奇心の5次元尺度の日本語版の開発—好奇心の領域と対象について—「感情心理学研究」, 26 巻 Supplement 号 p. os04.

④Haider, Z. F., & von Stumm, S. (2022, May 12). Predicting Educational and Social-Emotional Outcomes in Emerging Adulthood From Intelligence, Personality, and Socioeconomic Status. *Journal of Personality and Social Psychology*.

（2）渡辺研究員：

1. ソーシャル・ラーニングについて、下記の文献を紹介

Yayoi Watanabe, Maiko Ikeda, Elina Saeki & Mayu Higashida (2022); Social-emotional learning and class climate among elementary-aged students in Japan. *International Journal of School & Educational Psycho*.

2. 感情リテラシーの育成は依然として研究目標。特に幼児向けに、感情の理解や発達を促すための新しいプログラムの作製を目指す

・従来、Ekmanによる顔写真が、感情理解の育成等に使われることが多かったが、日本人の幼児モデルを使って、さまざまな感情表現の顔を撮影。日本の幼児に馴染みやすいアプリの開発を目指す。加えてイラストの作製も検討

・次回研究会 7月11日（月）13:00～（対面＋オンライン、8月は休会）